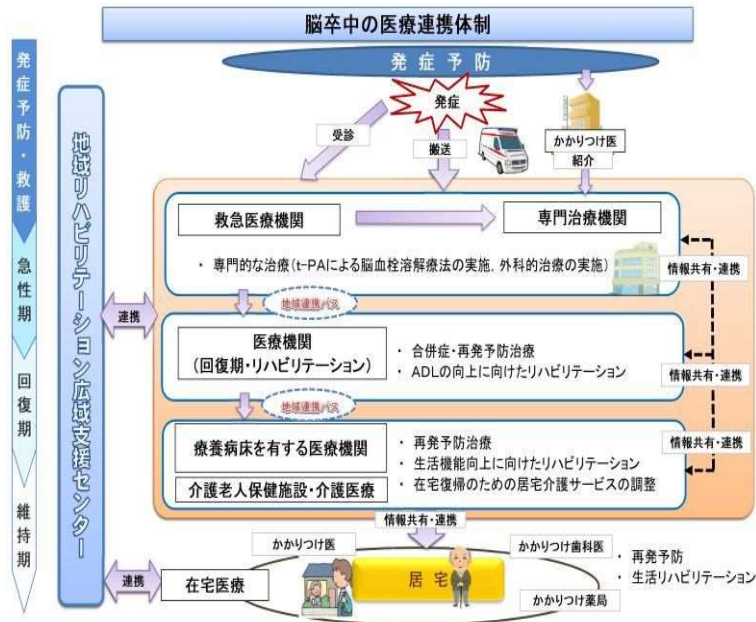


脳卒中中の医療連携体制



[県健康増進課作成]

脳卒中中の医療機能基準

初期対応施設 (救急診断)

- ・ 直ちにCTが撮影できる。
- ・ t-PA治療施行若しくは適応患者の推定が可能である。
- ・ 脳卒中急性期施設と速やかに連携がとれる。
- ・ 診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ・ 転院・退院調整機能を持ったスタッフがいる (専任の必要はない)。

急性期施設 (救急医療機能)

- ・ 脳卒中中の専門的治療が診療ガイドラインに則して実施できる。
- ・ 専門的治療が24時間実施できる体制が望まれる。
- ・ 血液検査や画像検査 (CT又はMRI) が24時間実施できる体制が望まれる。
- ・ t-PA治療並びに血栓回収療法が可能な体制が望ましい。
- ・ 呼吸・循環管理, 栄養管理が可能で, 高血圧, 糖尿病, 心房細動に対応できる。
- ・ リスク管理のもとに, 早期リハビリが可能である。
- ・ 転院・退院調整機能を持ったスタッフがおり, 転院・退院に際し患者及び家族を精神的にサポートしている (専任の必要はない)。
- ・ 退院時カンファレンス又は共同指導体制が望まれる。
- ・ 地域のケアマネージャーと連携がとれている。

回復期施設 (身体のリハビリ回復体制)

- ・ 脳疾患リハの施設基準を取得している。
- ・ 診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ・ 再発予防 (抗血小板療法, 抗凝固療法), 高血圧, 糖尿病, 心房細動などに対応できる。
- ・ 口腔ケア及び摂食機能訓練が可能である (資格は問わない)。
- ・ 入退院・転院調整機能を持ったスタッフがおり, 転院・退院に際し患者及び家族を精神的にサポートしている (専任の必要はない)。
- ・ 歯科医との連携が望ましい。
- ・ 地域のケアマネージャーと連携がとれている。
- ・ 転院時及び退院時カンファレンスが望まれる。

維持期施設 (日常生活への復帰・維持リハビリ体制)

- ・ 再発予防 (抗血小板療法, 抗凝固療法), 高血圧, 糖尿病, 心房細動などに対応できる。
- ・ 生活機能の維持向上のためにリハビリを実施している (担当者の資格は問わない)。
- ・ 可能な患者には離床して食事をとらせている。
- ・ 口腔ケア及び認知症への対応ができることが望ましい。
- ・ 入退院・転院調整機能を持ったスタッフがおり, 転院・退院に際し患者及び家族を精神的にサポートしている (専任の必要はない)。
- ・ 歯科医との連携が望ましい。
- ・ 地域のケアマネージャーと連携がとれている。

かかりつけ施設 (予防・初期相談・生活の場での療養支援体制)

- ・ 当該患者の状況を総合的に把握している。
- ・ 再発予防 (抗血小板療法, 抗凝固療法), 高血圧, 糖尿病, 心房細動などに対応できる。
- ・ 患者が希望する場合には, 訪問診療が可能であることが望ましい。
- ・ 急変時の初期相談又は対応が可能で, 急性期施設との連携がとれている。
- ・ 口腔ケア (歯科医との連携でも可) 及び認知症への相談にのり, 各診療科医との連携がとれていることが望ましい。
- ・ ケアマネージャー, 訪問看護, 通所・訪問リハビリなどの介護福祉サービス, 薬局, 歯科などと連携し, 情報共有を行っていることが望ましい。

[大隅地域振興局作成]